

北陸学院大学ChatGPT等の生成AI利用に関するガイドライン

2023年6月26日

本ガイドラインは、北陸学院大学に所属する学生が、ChatGPTを初めとする生成AIを利用するにあたり、本学のガイドラインとして最低限押さえておいた方が良いことをまとめたものです。今後AI技術の発展に伴い改訂されることが想定されます。

ChatGPTをはじめとする生成AIは、プロンプトと呼ぶキーワードを入力することで、コンピュータの先に実際に人がいるかのように自然な文章で回答を返してることができる汎用人工知能のサービスです。仕組みとしてはインターネット上のデータベースから、関連性が高いと判断される単語を上手につなぎ合わせ（生成）て、文章を造りあげるモノです。最近教育の分野で問題となっているのは、レポートの課題をチャット画面に入力（プロンプトとして指示）することにより、AIがレポートを代筆できてしまうことにあります。本来レポート課題は学生自身が文献などを調べまとめる力を身につけることが重要ですので、本来の目的から大きく外れてしまうことが危惧されています。一方で、AIはまだ発展途上でもあり、適切なプロンプトを入力することができなければ、見当違いな回答を示す可能性もあります。誤った解答を鵜呑みにすることなく、批判的視点でAIの回答を確認する事もAIを用いる上で必要なスキルといえます。AI共存社会がすぐそこまで来ている現在、未来を作る学生達にとって、AIの正しい活用方法を学ぶことは21世紀の情報リテラシーの一つともいえます。そこで本学では以下の通り、学生に対するAI利用に関する留意事項を示すとともに、先生方にも教育におけるAI利用のガイドラインを示し、学生との間でAIについて考える題材を提供したいと考えます。

学生の皆さんへ【AIの利用に関する留意事項】

- ・ AIの出力をレポート等の解答にそのまま利用することは禁止します。
- ・ 使用するAIによっては学習した際に用いたデータにより、偏見とも捉えられかねない出力をすることもあります。別の文献をあたるなど、AIの出力が本当に正しいものであるか確認して、論拠を示す事が求められます。
- ・ 授業によっては、生成系AIの使用を禁止したり限定したり、場合によっては剽窃とみなされる場合があります。生成系AIの使用については、科目担当教員の指示に従ってください。
- ・ 調べ学習等で使用する場合も、AIの出力には誤りが混ざっていることも少なくなく、AIの出力が正しい内容か、誤った内容なのか、自身でしっかり確認する必要があります。
- ・ 未発表の論文や秘密にすべき情報（個人情報やプライバシー情報等）を生成系AIに入力してしまうと、それらの情報が意図せず流出・漏えいしてしまう可能性があります。

教員の皆さんへ【大学教育におけるAI利用についての教員向けガイドライン】

AIは、①事実と異なることであっても正しいものとして回答することがある。②AIの回答には潜在的に学習の過程における偏見や誤りが含まれていることがある。③学習が行われた段階までのインターネット上のデータで回答が生成される。④Microsoft Bing Chatは引用元を表示しますが、ChatGPTの場合は回答に利用した引用元を表示することができない。などのような限界をもつものの、学生の文章作成を支援する強力なツールであることに間違いありません。ChatGPT（あるいはその先に現れる多様な AI）は、学生が社会に出たときには使いこなすことが求められるツールになっていると思われます。その意味で、大学では、使い方を制限するというよりも、学びの場にふさわしい使い方・考え方を教育することがむしろ重要になると思われます。AIの利用が大学教育の本来の目的から外れることのないように、また、自分自身の批判的な思考力を高めることができるように学生の意識を方向づけるとともに、AIを適切かつ有効に使う技術や考え方を教育するという理念と実践の両輪が大切です。個別の授業におけるAIの利用のあり方については、授業の特性に応じて、禁止、制限的な活用から積極的な活用にいた

る幅広い対応が想定されるため、担当する教員の判断に委ねることが 適切と考えられます。しかしながら、どのような利用のあり方であるにしろ、授業を実施するにあたっては、以下の事項に留意することが望まれます。

1. AIに対する理解：教員はAIに対する最低限の理解をもつことが必要です。もしAIをまだ試したことがない場合、ただちにAIを実際に試してみてください。とくに、授業での提示を予定している課題については、AIがどのような回答をするかあらかじめ確認しておくことが望まれます。ChatGPTをはじめとする大規模言語モデル（LLM）などAIの原理は、「ある単語の次に用いられる可能性が確率的に最も高い単語」を出力することで、もっともらしい文章を作成していくものです。書かれている内容には虚偽が含まれている可能性があります。生成AIのこのような限界を知り、その生成物の内容を盲信せず、必ず根拠や裏付けを自ら確認させるようにしてください。
2. 学生との理解の共有：学期初めに授業を開始するにあたって、教員は授業でのAIの利用について教員自身がどのような考えをもっているかを学生に伝えるとともに、授業の目的と目的に到る過程にルールとしてのAIがどう関与しうるのか、学生と継続的な議論をおこなうようにしてください。
3. 明確なルールの設定：同時に、教員は受講する学生に対して、授業におけるAIの利用のあり方について、明確なルールを示してください。とくに、学期中の課題を提示するにあたっては、あらためて学生とルールについて確認しておくようにしてください。
4. ルールの公平性：授業におけるAIの利用についてルールを定める場合、学生間の公平性が担保されるよう留意してください。学生の中にはパソコンの利用が苦手な者や、パソコンの利用が（障害などの理由で）不可欠な者がいる可能性があります。学生の特性に十分に配慮してください。
5. AI 検知サービスの是非：AIが生成した文章か否かを検知するサービスが公表されていますが、検知の結果には「偽陽性」（人間が書いた文章をAIの文章と誤って検知）と「偽陰性」（AIが生成した文章を人間の文章と誤って検知）する場合があります、その結果を全面的に信頼することはできないことに留意してください。
6. AIの利用と知的財産：生成AIに入力（送信）するデータは多種多様なものが含まれますが、知的財産権の処理の必要性や法規制の遵守という観点からは、以下の種類のデータを入力する場合、特に注意が必要です。（下記「※データ入力に際して注意すべき事項」参照）
 - a. 第三者が著作権を有しているデータ（他人が作成した文章等）
 - b. 登録商標・意匠（ロゴやデザイン）
 - c. 著名人の顔写真や氏名
 - d. 個人情報
 - e. 実習先等から秘密保持義務を課されて開示された秘密情報
 - f. 自組織の機密情報

※データ入力に際して注意すべき事項

a. 第三者が著作権を有しているデータ（他人が作成した文章等）

単に生成AIに他人の著作物を入力するだけの行為は著作権侵害に該当しません。もっとも、生成されたデータが入力したデータや既存のデータ（著作物）と同一・類似している場合は、当該生成物の利用が当該著作物の著作権侵害になる可能性もありますので注意してください。また、ファインチューニングによる独自モデルの作成や、いわゆるプロンプトエンジニアリングのために他者著作物を利用することについても原則として著作権侵害に該当しないと考えられます。

b. 登録商標・意匠（ロゴやデザイン）

商標や意匠として登録されているロゴ・デザイン等を生成AIに入力することは商標権侵害や意匠権侵害に該当しません。もっとも、この点は著作物と同様、あくまで「入力行為」に関するものである点に注意が必要です。故意に、あるいは偶然生成された、他者の登録商標・意匠と同一・類似の商標・意匠を商用利用する行為は商標権侵害や意匠権侵害に該当します。すなわち、生成AIにロゴやデザインを入力する際には登録商標・意匠の調査の必要性は乏しいですが、生成物を利用する場合には調査が必要です。

c. 著名人の顔写真や氏名

著名人の顔写真や氏名を生成AIに入力する行為は、当該著名人が有しているパブリシティ権の侵害には該当しません。ただし、生成AIを利用して生成物された著名人の氏名、肖像等については、それらの氏名や肖像等を商用利用する行為はパブリシティ権侵害に該当しますので注意してください。

d. 個人情報

ChatGPTにおいては入力したデータがOpenAI社のモデルの学習に利用されることになっていますので、【ChatGPT】に個人情報（顧客氏名・住所等）を入力する場合、当該個人情報により特定される本人の同意を取得する必要があります。そのような同意取得は現実的ではありませんので、個人情報を入力しないでください。

e. 実習先等から秘密保持義務を課されて開示された秘密情報

外部事業者が提供する生成AIに、他社との間で秘密保持契約（NDA）などを締結して取得した秘密情報を入力する行為は、生成AI提供者という「第三者」に秘密情報を「開示」することになるため、NDAに反する可能性があります。そのため、そのような秘密情報は入力しないでください。

f. 自組織の機密情報

大学内の機密情報（ノウハウ等）を生成AIに入力する行為は何らかの法令に違反するということはありませんが、生成AIの処理内容や規約の内容によっては当該機密情報が法律上保護されなくなったり特許出願ができなくなったりしてしまうリスクがありますので、入力しないでください。